



# 全農薬通報

No.246

平成18年12月20日

..... も く じ .....

◎ 組合からのお知らせ

第 232 回～第 234 回理事会

第 41 回通常総会 第 29 回安全協 全国集会

組合員異動 新役員・地区長・委員会構成

◎ 平成 18 年度植物防疫地区協議会

◎ 研修会及びシンポジウムの案内

「緑の安全管理士」支部大会

日本植物防疫協会 シンポジウム

◎ 平成 18 農薬年度 9 月末出荷実績

◎ 平成 17 年度 ゴルフ場 水質調査結果について

◎ クロルピクリン剤等の土壌くん蒸剤の適正使用について

◎ 主な行事予定

全国農薬協同組合=東京都千代田区内神田3-3-4(全農薬ビル)〒101-0047/電話(03)3254-4171(代表)  
FAX (03)3256-0980

回 覧			10				
-----	--	--	----	--	--	--	--

## 組合からのお知らせ

### 1. 第232回理事会

(1) 日時 平成18年11月13日(月) 15:30~17:00

(2) 場所 全農薬会議室

(3) 議題

#### (1) 議決事項

##### 1) 第41回通常総会提出議題について

第1号議案 平成18年度決算関係書類承認の件

第2号議案 平成19年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件

第3号議案 平成19年度賦課金の金額及びその徴収方法決定の件

第4号議案 平成19年度借入金最高限度額(案)決定の件

第5号議案 役員報酬額(案)決定の件

第6号議案 役員任期満了につき改選の件

#### (2) 協議事項

1) 第41回通常総会及び第29回全国集会次第について

2) 賛助会員加入勧誘について

3) その他

#### (3) 報告事項

1) 福岡県農薬セミナーについて

2) 農薬適正使用指導強化協議会技術対策支援チーム発足について

3) その他

### 2. 第41回通常総会

(1) 日時 平成18年11月14日(火) 10:00~11:50

(2) 場所 虎ノ門パストラル

(3) 議題

① 平成18年度決算関係書類承認の件

② 平成19年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件

③ 平成19年度賦課金の金額及びその徴収方法決定の件

④ 平成19年度借入金最高限度額(案)決定の件

⑤ 役員報酬額(案)決定の件

⑥ 役員任期満了につき改選の件

松木理事長より、日頃の組合運営、事業推進に対する協力にお礼が述べられた後、平成18年度の農業情勢、各事業別に概況が事業報告書を基に報告された。

そして、組合の取引基本契約書が現状に合わない部分があるため総務委員会で検討しほぼ成案が出来た。本年度契約書の差替えを皆様をお願いするので協力いただきたい。

ポジティブリスト制度の周知徹底がまだ不十分と見られますので、皆様方のお力で周知を図ると共に、消費者の方にも本制度を理解いただく努力をしていきたい。

WEBによる受発注システムがメーカー個々に構築され、私共に持ち込まれるが、省力でなく混乱する恐れがある。については全農薬が窓口となり業界統一の受発注システムができれば、コスト低減・事務合理化に役立つので、組合としての事業に取り組んでいきたいが、これは組合員・関係企業のご協力がなければ完成しないので、ぜひ組合員の皆様のご理解ご協力をお願いしたいとの挨拶があった。

金井理事が議長に選ばれ議題の審議に入り、平成18年度決算、平成19年度予算等総ての議案が承認された。

続いて、任期満了に伴う役員改選が行われ、19名の理事と2名の監事が選出された。

なお、次項に掲載した第233回理事会で理事長には松木三男氏、副理事長には羽隅弘治氏が選ばれた。(役員名簿は18頁に掲載)

#### (4) 慶弔関係及び諸表彰

##### ◎ 慶弔関係

###### 『慶事』

理事長 松木三男氏 【旭日小綬章】

###### 『弔事』

長野県	相馬商事(株)	相馬三郎氏
徳島県	(株)鶴田利七商店	鶴田知義氏
青森県	(有)盛農薬商会	盛力三氏
茨城県	東農薬(株)	小林厚志氏
全国農薬協同組合	技術顧問	刈屋明氏

##### ◎ 支部表彰(平成18年度商品別取扱高上位支部)

ジマンダイセン:和歌山、愛媛、広島

カーメックスD:新潟、愛知、愛媛

プリグロックスL(安全対策活動費):秋田、愛知、富山

バイエル商品:北海道、鹿児島、長野、

ダイヤモンド等:北海道、福岡、鳥取

安全対策用マスク・防除衣:北海道、熊本、長野、千葉、広島

スナップショット:広島

◎ 永年勤続役員表彰

理事 木 幡 貢 氏 (北海道)

理事 北 濱 宏 一 氏 (北海道)

理事 垣 本 博 司 氏 (和歌山)

◎ 永年勤続支部長表彰

岩手県支部長 佐 藤 健 二 氏

福島県支部長 長 澤 圭 祐 氏

神奈川県支部長 三 浦 忠 夫 氏

福井県支部長 上 田 修 志 氏

愛媛県支部長 池 田 洋 一 氏

◎ 組合員事業所永年勤続従業員表彰

廣田産業㈱ 青 木 正 道 氏

グリーンテック㈱ 松 尾 悦 郎 氏

// 八 田 恵 子 氏

山陽薬品㈱ 田 原 幹 太 郎 氏

// 同 前 弘 子 氏

㈱栗原弁天堂 松 岡 宣 夫 氏

東海物産㈱ 南 川 武 久 氏

// 石 田 嗣 男 氏

中澤氏家薬業㈱ 中 谷 富 久 生 氏

㈱コハタ 竹 内 竜 二 氏

// 伊 藤 浩 之 氏

㈱宮崎温仙堂商店 横 尾 健 一 氏

// 濱 口 雅 史 氏

// 中 嶋 秀 行 氏

// 秋 田 啓 二 氏

大信産業㈱ 中 浦 浩 氏

◎ 職員表彰

勤続年数二十年 渋 谷 マ ス 子

### 3. 第233回理事会

(1) 日 時 平成18年11月14日(火) 11:00～11:15

(2) 場 所 虎ノ門パストラル「しらかばの間」

(3) 議 題

〔議決事項〕

① 理事長・副理事長選任の件

理事長に松木三男氏、副理事長に羽隅弘治氏の留任を承認した。

② 安全協会長選任の件

北濱宏一氏を選任した。

筆頭副会長は次回理事会で選任することとした。

(4) 出席者

新理事 19名、監事2名

### 4. 第29回全国農薬安全指導者協議会全国集会

(1) 日 時 平成18年11月14日(火) 13:30～17:00

(2) 場 所 虎ノ門パストラル

(3) 議 題

① 平成18年度事業報告、収支決算

② 平成19年度事業計画、収支予算

③ 役員改選

(4) モデル県活動報告 福岡県

(5) 来賓祝辞

農林水産省 消費安全局農産安全管理課農薬対策室長 横田敏恭氏

日本植物防疫協会 理事長 岩本 毅氏

農薬工業会 会 長 窪田 隆一氏

(6) 特別講演

「農薬をめぐる最近の情勢と農薬安全広報対策の考え方」

…………… 農薬工業会 玉川 寛 治氏

スローガン唱和

- ・法令を遵守し安全な農作物の確保に努めよう
- ・農薬の正しい知識の普及に努めよう
- ・農薬物流の危機管理徹底に努めよう

集会の冒頭、垣本会長から挨拶があり、続いて北濱副会長が議長に選ばれ審議に入り、平成 18 年度事業報告及び、収支決算、平成 19 年度事業計画及び収支予算が了承された。続いて役員改選がなされた。垣本会長より、役員改選期だが会則により先刻の第 233 回全農薬理事会で教育安全委員長に選任された北濱宏一理事が会長に就任、筆頭副会長は後日の全農薬理事会で選任されると報告された。次いで議長より各地区1名の常任幹事が発表され、承認された。

常任幹事により、田中、武市両氏が副会長に選任された。

(安全協新役員を 20 頁に掲載)

モデル県活動では、福岡県田上常任幹事から、福岡市内において開催した農薬セミナー「お母さん、知って安心、家族も安心」について説明があり、有効かつ成功裡に開催されたとの報告があった。

ご来賓としてご出席いただいた、農薬対策室 横田室長より最近の農薬行政についての説明があり、続いて日本植物防疫協会 岩本理事長、農薬工業会 窪田会長よりご挨拶をいただいた。

本年度の特別講演は、農薬工業会 玉川専務理事より農薬をめぐる最近の話題として、有機リン問題、内分泌攪乱物質問題、ポジティブリスト制について等、そして農薬安全広報対策について多量の資料を基にお話しいただいた。

全国集会にご出席いただいた、千葉大学本山教授からも特別に話題提供がなされた。本集会で安全協会長に就任された北濱新会長より挨拶があり閉会した。

#### ◎ 記念パーティ

全国集会終了後、鳳凰の間へ移動し、引き続いて記念パーティが開催された。

松木理事長の挨拶のあと、ご臨席の三浦一水、逢沢一郎、伊藤信太郎、宮下一郎、大村秀章、二田孝治、各国会議員から祝辞を頂いた。官路和明、木村隆秀、井上喜一各国会議員からは代理人の出席を頂いた。

農林水産航空協会関口会長の音頭で乾杯したのち、懇談に入った。農林水産省、関係団体、関係農薬メーカーから多数のご出席を賜り盛会であった。

財残留農薬研究所、寺本理事長の中締めによって閉会した。

## 5. 第234回理事会

- (1) 日 時 平成 18 年 12 月 6 日(火) 15:30~17:00
- (2) 場 所 全農薬会議室
- (3) 議 題

[議決事項]

- ① 各委員会構成について
- ② 地区長、支部長、相談役委嘱について
- ③ 平成19年度購買事業価格及び諸条件について
- ④ 組合員脱退について

[協議事項]

- ① 平成19年度地区会議内容について
- ② 平成19年度行事日程について
- ③ 取引基本契約書改訂について
- ④ web受発注システムについて
- ⑤ その他

6. WEB受発注システム説明会

- (1) 日 時 平成18年12月14日(木) 13:00～15:00
- (2) 場 所 全農薬会議室
- (3) 議 題 全農薬受発注システムについて
- (4) 出席者 賛助会員(24社、45名)  
          (株)電算システム  
          正・副理事長、大森IT・広報委員長、池田副委員長、事務局

7. 農林水産省農政局及び日本植物防疫協会主催平成18年度植物防疫地区協議会

(1) 日程及び出席者

<u>地 区</u>	<u>月 日</u>	<u>場 所</u>	<u>出 席 者</u>
北海道・東北	11月15日～16日	秋田市	理事代理 天明 仁氏
関 東	11月24日	さいたま市	理事代理 鈴木博光氏
北 陸	11月13日～14日	金沢市	理事代理 前田昭三郎氏
東海・近畿	11月9日～10日	名古屋市	理事代理 古橋友雄氏
中国・四国	11月1日～2日	高松市	喜多克幸香川県支部長
九州・沖縄	11月1日～2日	熊本市	安達勝理事

(2) 議 題(関東)

- ① 最近の植物防疫情勢・農薬行政について
- ② IPM取り組み状況
- ③ 農薬登録検査の現状について

- ④ 平成 18 年度の主要病害虫の発生状況について
- ⑤ ポジティブリスト制導入と管内の状況について
- ⑥ マイナー作物対策に係る情勢について

## 8. 組合員異動

### 〔社名変更〕

新：グリーンテック株式会社 (九州地区)

旧：グリーンテック九薬株式会社

新：アグロ石川株式会社 (山形県)

旧：株式会社 インカワ

### 〔脱 退〕

- 志賀為株式会社 (愛知県)
- ※ (株)アグリサポート:12月1日付でグリーンテック(株)と合併
- 株式会社アグリサポート 福岡営業所 (福岡県)
- 株式会社アグリサポート (熊本県)
- 株式会社アグリサポート 鹿児島営業所 (鹿児島県)

## 9. 植防団体総務連絡会

- (1) 日 時 平成 18 年 12 月 14 日(木) 16:00～17:00
- (2) 場 所 全農薬会議室
- (3) 議 題 1.各団体行事予定(平成 19 年 1 月～平成 19 年 6 月)  
2.伝達事項及び情報交換  
3.その他
- (4) 出席者 弓削参事

## 10. 「緑の安全管理士会」支部大会兼更新研修会のお知らせ

「緑の安全管理士」支部大会が下記の通り開催されますので受講をお勧めします。

平成 19 年 1 月に(株)緑の安全推進協会から会員宛に案内状が送付される予定です。

(北海道、東北、関東・甲信越、東海・北陸エリアは終了しました。)

- 研修テーマ —
- 1.最近の農薬行政の動向と課題
- 2.ポジティブリスト制導入とその後
- 3.農薬をめぐる最近の動きと新しい農薬の紹介
- 4.街路樹の病害虫防除



記

支 部	開 催 日	場 所
近 畿	平成 19 年 2 月 9 日 (金) 13:00～17:00	新大阪ワシントンホテルプラザ 大阪市淀川区西中島 5-5-15
中国・四国	平成 19 年 2 月 8 日 (木) 13:00～17:00	メルパルク岡山 岡山市桑田町 1-13
九州・沖縄	平成 19 年 2 月 7 日 (水) 13:00～17:00	福岡ガーデンパレス 福岡市中央区天神 4-8-15

11. (社)日本植物防疫協会シンポジウム「散布技術を考える」

別添(10 頁)のとおり開催されますのでご案内します。

12. 平成18農薬年度9月末出荷実績表

農薬工業会が発表した平成 18 農薬年度9月末出荷実績表を 11 頁に掲載しました。

13. ゴルフ場暫定指導指針対象農薬に係る平成 17 年度水質調査結果について

環境省より別添(12～15 頁)のとおり、プレスリリースされましたので掲載します。

指針値を超過した検体はゼロでした。

14. クロルピクリン剤等の土壌くん蒸の適正使用について

農林水産省消費・安全局より別添(16～17 頁)のとおり、クロルピクリン剤等の適正使用について、指導の依頼がありましたので販売時に徹底してください。



## シンポジウム「散布技術を考える」開催要領

- 日 時：平成19年1月17日（水） 10:00～17:30
- 場 所：東京都北区西ヶ原1-23-3「滝野川会館大ホール」 Tel.03-3910-1651
- 主 催：社団法人日本植物防疫協会
- 参集範囲：国・都道府県の行政担当者、病害虫防除所、試験研究機関、普及センター、大学等の関係者、農業企業、防除機企業、関係団体の関係者 定員500名
- 参加費：無料（ただし講演要旨集をご希望の方は実費2,000円を申し受けます）

◆趣旨：散布技術は農業の的確かつ効果的な利用のうえで大変重要であるばかりでなく、作業安全、環境負荷低減、省力化や効率化といった多くの観点において貢献をもたらす可能性を秘めている。昨今の飛散対策推進を契機として散布法に対する関心が高まっており、一層の改善のために新たな技術開発もすすめられている。本シンポジウムでは主な散布法と関連技術を総括するとともに、散布技術をめぐる課題を明らかにし、今後の展開方向を探る。

### ◆プログラム：

- 10:00 開会
- 10:10 製剤・施用法と開発動向  
全農営農・技術センター 松尾一穂氏
- 11:00 防除機の現状と課題  
生物系特定産業技術研究支援センター 宮原佳彦氏
- 11:50 （昼食休憩）
- 12:50 展着剤の機能と応用  
花王株式会社 川島和夫氏
- 13:35 水稻・畑作の少量散布技術の展開  
北海道立十勝農業試験場 清水基滋氏
- 14:20 水稻用微粒剤Fの特徴と開発動向  
日本植物防疫協会 高木 豊氏
- 15:05 （休憩）
- 15:20 除草剤の施用技術と飛散・流出の低減  
日本植物調節剤研究協会 横山昌雄氏
- 16:10 パネルディスカッション
  - ・第1部 飛散低減対策の最前線  
県、日植防研、全農から最新の調査結果を報告し、飛散対策の今後について意見交換します。
  - ・第2部 散布技術の課題と展望  
講師らにより散布技術の課題と今後の展望について幅広い観点から意見交換します。
- 17:30 閉会

平成18農薬年度9月末出荷実績表

9月累計出荷では数量231千トン(前年度比一5千トン、金額3,309億円(前年度比2億円、100.5%)と数量でやや減少し、金額ではわずかに増加した。使用分野別にみると、果樹・野菜畑作の数量及び金額と、水稲・分類的な数量が減少し、水稲の金額とその他の数量及び金額は前年同様だった。種類別で見ると、殺虫剤・混合剤の数量及び金額と、除草剤の数量が増加し、殺菌剤・植調剤の数量及び金額と、除草剤の数量が減少した。

		《数量》				《金額》				単位:100万円	
	水	平成17農薬年度		平成18農薬年度		水	平成17農薬年度		平成18農薬年度		前年 同期比
		10~9月	9月末	9月末	9月末		10~9月	9月末	9月末	9月末	
殺虫剤	21,280	21,280	23,446	1,037	110.2	殺虫剤	14,187	14,187	15,309	536	107.9
殺菌剤	15,089	15,089	14,366	303	95.2	殺菌剤	16,059	16,059	15,981	420	99.5
殺虫殺菌剤	24,841	24,841	23,520	268	94.7	殺虫殺菌剤	31,686	31,686	31,417	138	99.2
除草剤	35,256	35,256	33,526	755	95.1	除草剤	55,832	55,832	55,513	1,526	99.4
小計	96,466	96,466	94,858	2,363	98.3	小計	117,765	117,765	118,219	2,620	100.4
殺虫剤	11,129	11,129	11,003	667	98.9	殺虫剤	25,862	25,862	24,676	1,462	95.4
殺菌剤	7,857	7,857	7,059	335	89.8	殺菌剤	19,418	19,418	18,785	1,010	96.7
殺虫殺菌剤	52	52	41	4	78.8	殺虫殺菌剤	74	74	61	6	82.4
除草剤	4,438	4,438	4,516	219	101.8	除草剤	9,312	9,312	9,509	455	102.1
小計	23,476	23,476	22,619	1,226	96.3	小計	54,665	54,665	53,032	2,933	97.0
殺虫剤	50,742	50,742	48,826	4,970	96.2	殺虫剤	55,205	55,205	55,725	6,203	100.9
殺菌剤	29,456	29,456	27,606	2,561	93.7	殺菌剤	38,529	38,529	37,288	2,799	96.8
殺虫殺菌剤	1,101	1,101	997	42	90.6	殺虫殺菌剤	662	662	655	28	98.9
除草剤	11,568	11,568	11,187	863	96.7	除草剤	18,812	18,812	19,368	1,193	103.0
小計	92,867	92,867	88,616	8,436	95.4	小計	113,208	113,208	113,036	10,223	99.8
殺虫剤	4,042	4,042	4,044	300	100.0	殺虫剤	6,087	6,087	6,309	533	103.6
殺菌剤	1,242	1,242	1,298	186	104.5	殺菌剤	6,001	6,001	6,541	1,299	109.0
殺虫殺菌剤	197	197	1,905	142	967.0	殺虫殺菌剤	243	243	1,144	108	470.8
除草剤	9,811	9,811	10,502	1,019	107.0	除草剤	18,626	18,626	20,007	2,596	107.4
小計	15,291	15,291	17,749	1,647	116.1	小計	30,957	30,957	34,001	4,535	109.8
殺虫剤	87,193	87,193	87,319	6,974	100.1	殺虫剤	101,341	101,341	102,019	8,734	100.7
殺菌剤	53,644	53,644	50,329	3,385	93.8	殺菌剤	80,007	80,007	78,595	5,528	98.2
殺虫殺菌剤	26,191	26,191	26,463	456	101.0	殺虫殺菌剤	32,665	32,665	33,277	280	101.9
除草剤	61,073	61,073	59,731	2,856	97.8	除草剤	102,582	102,582	104,397	5,770	101.8
小計	228,101	228,101	223,842	13,671	98.1	小計	316,595	316,595	318,288	20,312	100.5
植物調整剤	2,361	2,361	2,212	32	93.7	植物調整剤	8,694	8,694	8,473	216	97.5
殺菌剤	29	29	30	1	103.4	殺菌剤	28	28	29	1	103.6
補助剤	5,077	5,077	4,466	190	88.0	補助剤	2,807	2,807	2,632	140	93.8
その他	18	18	18	0	100.0	その他	1,124	1,124	1,510	95	134.3
小計	7,485	7,485	6,726	223	89.9	小計	12,653	12,653	12,644	451	99.9
合計	235,586	235,586	230,568	13,895	97.9	合計	329,248	329,248	330,932	20,762	100.5

平成18年11月2日

# ゴルフ場暫定指導指針対象農薬に係る平成17年度水質調査結果について

環境省の示した「暫定指導指針」に基づき、平成17年度に都道府県及び地方環境事務所において実施したゴルフ場で使用される農薬についての水質調査の結果を、環境省において取りまとめた。

833か所のゴルフ場を対象に、延べ35,687検体について水質調査を実施。そのうち指針値を超過したのは0検体。

## 1. 経緯

環境省は、平成2年5月に、ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁を未然に防止するため、ゴルフ場で使用される農薬に係る水質調査の方法や、ゴルフ場の排水口での遵守すべき農薬濃度目標(指針値)等を定めた「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針」(以下「暫定指導指針」という。)を都道府県に通知した。以降、各都道府県において、同指針に基づき所要の調査、指導が行われている。環境省は、この水質調査結果について、平成2年度以降、毎年都道府県から報告を求めている。なお、平成16年度調査からは、環境省地方環境対策調査官事務所(平成17年10月1日付けで「地方環境事務所」に再編)においても水質調査を実施している。

引き続き「暫定指導指針」に基づき、都道府県と協力してゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止のため指導を行っていく。

## 2. 平成17年度に都道府県及び地方環境事務所において実施されたゴルフ場排水口等における水質調査結果

### <調査結果の概要>

- |                  |  |
|------------------|--|
| [1] 調査を実施した都道府県数 | 43<br>(うち地方環境事務所が調査を行った都道府県数 14道県(一部都道府県との重複あり)) |
| [2] 調査対象となったゴルフ場 | 833か所<br>(うち地方環境事務所が調査を行ったゴルフ場数 14か所)            |
| [3] 調査対象農薬数      | 計45種類  |
| [4] 総検体数         | 35,687検体<br>(うち地方環境事務所が調査を行った検体数 630検体)          |
| [5] 検出状況         | 農薬別検出濃度範囲等は別表に記載したとおり<br>指針値超過検体 なし              |
| [6] 過去の調査結果との比較  |  |

調査年度	調査対象ゴルフ場総数	調査対象農薬数	総検体数(A)	指針値超過検体数(B)	指針値超過比率(B/A)(%)
平成13年度	1,526	35	78,184	0	0
平成14年度	1,539	45	79,893	1	0.0013
平成15年度	1,233	45	60,858	0	0
平成16年度	997	45	45,880	0	0
平成17年度	833	45	35,687	0	0

#### 添付資料

- (別表) ゴルフ場排水口における農薬別濃度範囲等
- (参考) ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について

#### 連絡先

環境省水・大気環境局土壤環境課  
 土壤環境課農薬環境管理室  
 直通:03-5521-8311  
 室長 鈴木 伸男(6640)  
 室長補佐 小出 純(6641)  
 担当 岡田 佳寿美(6644)

(別表) ゴルフ場排水口における農薬別濃度範囲等

農薬名	指針値 (mg/l)	濃度範囲 <sup>注1</sup> (mg/l)	指針値超 過検体数	(参考) 総検体数 <sup>注2</sup>
(殺虫剤)				
アセフェート	0.8	ND~0.001	0	706
イソキサチオン	0.08	ND	0	882
イソフェンホス	0.01	ND	0	596
エトフェンプロックス	0.8	ND~0.0001	0	611
クロルピリホス	0.04	ND	0	786
ダイアジノン	0.05	ND~0.0085	0	1,143
チオジカルブ	0.8	ND	0	700
トリクロルホン(DEP)	0.3	ND	0	603
ピリダフェンチオン	0.02	ND	0	688
フェニトロチオン(MEP)	0.03	ND~0.006	0	1,057
(殺菌剤)				
アゾキシストロビン	5	ND~0.016	0	1,024
イソプロチオラン	0.4	ND~0.0006	0	797
イプロジオン	3	ND	0	919
イミノクタジン酢酸塩	0.06	ND~0.0006	0	562
エトリジアゾール(エクロメゾール)	0.04	ND	0	584
オキシ銅(有機銅)	0.4	ND~0.004	0	740
キャプタン	3	ND	0	648
クロロタロニル(TPN)	0.4	ND	0	913
クロロネブ	0.5	ND	0	814
チウラム(チラム)	0.06	ND	0	803
トルクロホスメチル	0.8	ND~0.044	0	961
フルトラニル	2	ND~0.0045	0	920
プロピコナゾール	0.5	ND~0.002	0	949
ペンシクロン	0.4	ND~0.016	0	1,101
ホセチル	23	ND	0	617
ポリカーバメート	0.3	ND~0.001	0	592
メタラキシル	0.5	ND~0.0032	0	918
メプロニル	1	ND~0.00065	0	943
(除草剤)				
アシュラム	2	ND~0.13	0	1,055
ジチオピル	0.08	ND~0.0005	0	792
シデュロン	3	ND~0.001	0	770
シマジン(CAT)	0.03	ND~0.018	0	708
テルブカルブ(MBPMC)	0.2	ND~0.0024	0	661
トリクロピル	0.06	ND~0.005	0	810
ナプロパミド	0.3	ND~0.002	0	710
ハロスルフロンメチル	0.3	ND~0.016	0	863
ピリブチカルブ	0.2	ND	0	722
ブタミホス	0.04	ND~0.0026	0	712
フラザスルフロン	0.3	ND	0	729
プロピザミド	0.08	ND~0.03	0	777
ベンスリド(SAP)	1	ND	0	628
ペンディメタリン	0.5	ND~0.0014	0	934
ベンフルラリン(ベスラジン)	0.8	ND	0	736
メコプロップ(MCPP)	0.05	ND~0.023	0	871
メチルダイムロン	0.3	ND	0	632
合計			0	35,687

注1 排水口のデータである。なお、都道府県により定量下限値は異なる。

注2 場外の水域等を含む検体の合計である。

(参考)

## ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について

### 1. 概要

- (1) 水質保全の面からゴルフ場を指導するに先立って、農薬の使用状況や場内の集排水系統、周辺水域の状況等の実態を的確に把握すること。
- (2) 下流水域への出口であるゴルフ場の排水口における調査を基本に、農薬の使用状況、現地の立地条件等を勘案して排出水中の農薬の残留実態を的確に調査すること。
- (3) 全国的にみて主要な農薬について現在得られている知見等を基に人の健康の保護に関する視点を考慮して設定した指針値を、排出水中の農薬濃度が超過しないよう農薬の流出を極力低減させる等の指導を行うとともに、当該濃度が同指針値を超過した場合には次のような適切な措置をとること。
  - ① 下流の利水施設に支障が生じないよう万全の措置を講ずること。
  - ② 農薬の流出原因についてより詳細な調査を行うこと。
  - ③ 農薬使用の適正化、可能な範囲での農薬使用量の削減等の指導を一層徹底すること。
  - ④ 現地の実情に即し、ゴルフ場の集排水施設、施設・構造等の改善を指導すること。
- (4) 都道府県において、地域の実情に応じ、この指針値に替わるより厳しい値によって所要の指導を行うことができること。
- (5) 関係行政部局の連絡協議、ゴルフ場関係者の自主的な調査点検等の指導に努めること。

### 2. 暫定指導指針の改正等について

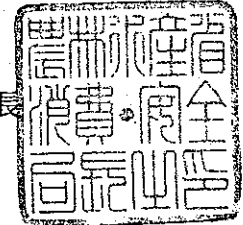
- 平成 2年 5月24日 : 環境庁水質保全局長名で各都道府県知事あてに通知。
- 平成 3年 7月30日 : 一部改正 (対象農薬を追加し、21から30農薬へ。)
- 平成 4年12月21日 : 一部改正 (指針値を一部強化。フェニトロチオンの指針値を0.1から0.03 (mg/l)に変更。)
- 平成 9年 4月24日 : 一部改正 (対象農薬を追加し、30から35農薬へ。)
- 平成13年12月28日 : 一部改正 (対象農薬を追加し、35から45農薬へ。)



18消安第8846号  
平成18年11月30日

全国農薬協同組合理事長 殿

農林水産省消費・安全局長



### クロルピクリン剤等の土壌くん蒸剤の適正使用について

このことについて、「平成18年農業生産の技術指導について」（平成18年4月21日付18企第19号農林水産省大臣官房技術総括審議官通知）、「平成18年度農薬危害防止運動の実施について」（平成18年5月26日付け18消安第2347号農林水産省消費・安全局長通知）等において、農薬の使用時における安全確保やクロルピクリン剤等の土壌くん蒸剤の適正な取扱い等についてご協力をお願いしているところです。

しかしながら、依然として、クロルピクリン剤の不適正な使用に起因する事故の発生がみられることから、クロルピクリン剤等の土壌くん蒸剤使用時の安全確保の一層の徹底を図る必要があります。

については、これまでの農薬の適正使用及び危害防止の指導の一層の強化を図るため、都道府県に対し、別紙のとおり指導することとしたので、御了知いただくとともに、特段のご協力をお願いします。



18消安第8846号  
平成18年11月30日

農政局長 殿

消費・安全局長

### クロルピクリン剤等の土壌くん蒸剤の適正使用について

このことについて、「平成18年農業生産の技術指導について」（平成18年4月21日付18企第19号農林水産省大臣官房技術総括審議官通知）、「平成18年度農薬危害防止運動の実施について」（平成18年5月26日付け薬食発第0526002号・18消安第2347号厚生労働省医薬食品局長、農林水産省消費・安全局長通知）等において、農薬の使用時における安全確保やクロルピクリン剤等の土壌くん蒸剤の適正な取扱い等について指導をお願いしているところである。

しかしながら、依然として、クロルピクリン剤の不適正な使用に起因する事故の発生がみられることから、クロルピクリン剤等の土壌くん蒸剤使用時の安全確保の一層の徹底を図る必要がある。

については、これまでの農薬の適正使用及び危害防止の指導の一層の強化を図るとともに、特に、下記の事項について、貴局管下各都県に対し指導をお願いする。

#### 記

- 1 クロルピクリン剤等の土壌くん蒸剤の使用に当たっては、農薬の容器に表示された使用上の注意事項等に従い、防護マスク等の防護装備の着用、施用直後のビニール等での被覆等を確実に実施するよう指導を徹底すること。  
特に、クロルピクリン剤については、使用場所、周辺の状況に十分配慮して防除を行うよう、使用者に対する指導を徹底すること。
- 2 クロルピクリン剤等の土壌くん蒸剤の施用後は、速やかに被覆することを徹底するとともに、施用と同時にビニール等で被覆する技術やテープ剤、錠剤等を使用した簡便な施用技術についても推進を図ること。
- 3 特に、ビニールハウスをはじめとする施設等の中においてクロルピクリン剤等の土壌くん蒸剤を使用する場合は、上記1及び2を十分踏まえた上で、以下の事項を遵守するよう、指導を徹底すること。
  - (1) 施設内での作業中は、出入口、天窗、側窓等を開け通気を行う。
  - (2) 施用作業後は直ちに密閉し、臭気が残っている期間は施設内に入らない。
  - (3) くん蒸後の作業でハウス内に入る場合には、臭気が無くなったことを確認してから十分換気した後に入室する。
- 4 たばこ栽培等に使用される深層土壌くん蒸処理に当たっては、その処理法に適した機材を使用し、薬液注入の深さや注入後の土壌鎮圧等を十分注意して行うこと。

## 全国農業協同組合役員一覧表

理事長 松木三男  
副理事長 羽隅弘治

理 事 ・ 監 事				
平成18年11月～平成20年11月				
北海道地区	北海道	(株) コハタ	地区長	木幡 貢
	〃	(株) サングリーン太陽園	—	北濱宏一
東北地区	秋 田	池田薬品商事(株)		池田晃司
	宮 城	小 泉 商 事 (株)	地区長	鈴木郁夫
関東地区	群 馬	カネコ種苗(株)	地区長	金子昌弘
	神奈川	京 浜 興 農 (株)	—	羽隅弘治
甲信越地区	長 野	(株) アグログリーン	地区長	武田晴之
	新 潟	(株) 富 山		富山道郎
東海北陸地区	愛 知	(株) 石黒製薬所		石黒 功
	三 重	東海物産(株)	地区長	青木邦夫
近畿地区	滋 賀	(株) 高岡屋		宇野彰一
	和歌山	日本農事(株)	地区長	垣本博司
中国地区	岡 山	山陽薬品(株)		大森 茂
	広 島	大信産業(株)	地区長	田中康貴
四国地区	徳 島	(株) 松村農園		松村博三
	愛 媛	(株) 金井商会	地区長	金井謙一
九州地区	福 岡	(株) ベルデ九州	地区長	金子邦昭
	熊 本	グリーンテック(株)	—	松木三男
員 外		ダウ・ケミカル日本(株)		野沢雅人
理事数				19名
監 事	千 葉	岩 渕 農 薬 (株)		岩渕健二
	福 井	(株) 上田五兵衛商店		上田修志

## 委員会構成一覽表

委員会名	委員名	備考
教育安全委員会	委員長 北 浜 宏 一 副委員長 武 田 晴 之 宇 野 彰 一 松 村 博 三 金 子 邦 昭 ※ 鈴 木 郁 夫 ※ 金 子 昌 弘 ※ 上 田 修 志 ※ 石 黒 功	※ は兼任
経済活動委員会	委員長 青 木 邦 夫 副委員長 金 子 昌 弘 鈴 木 郁 夫 野 沢 雅 人	
IT・広報委員会	委員長 大 森 茂 副委員長 池 田 晃 司 岩 淵 健 二 上 田 修 志 石 黒 功 金 井 謙 一	
総務委員会	委員長 田 中 康 貴 副委員長 木 幡 貢 富 山 道 郎 垣 本 博 司	
コンプライアンス 委員会	委員長 羽 隅 弘 治 北 浜 宏 一 青 木 邦 夫 大 森 茂 田 中 康 貴	

平成 18 年 12 月 6 日現在

## 全国農薬安全指導者協議会 役員

会 長	北濱 宏一 (全農薬 教育安全委員長)
筆頭副会長	武田 晴之 (全農薬 教育安全副委員長)
副会長	田中 宇兵衛
	武市 康則

### 常任幹事

北海道地区	八木沢 祐介 [北海道・北海道日紅(株)旭川]
東北地区	長澤 祐嗣 [福島・(有)長澤商店]
関東地区	皆川 康雄 [茨城・カネコ種苗(株)土浦]
甲信越地区	中村 雅彦 [新潟・神山物産(株)]
北陸・東海地区	鈴木 健司 [愛知・(株)金星商会]
近畿地区	田中 宇兵衛 [奈良・山宇物産(株)]
中国地区	武市 康則 [岡山・山陽薬品(株)]
四国地区	海稻 念之 [愛媛・(株)金井商会]
九州地区	田上 智範 [福岡・ヒノマル(株)福岡]

以上

# 慶 事

全国農薬協同組合 松木三男理事長 旭日小綬章 受章

先般11月秋の叙勲にて全国農薬協同組合理事長として「旭日小綬章」を受章されました。

組合の共同事業及び農薬の流通業界の適正化に貢献するとともに、農産物並びに環境への安全確保に多大な貢献をされた功績が、農業振興功勞として認められたものです。組合の榮譽としてこれほどの喜ばしいことはございません。

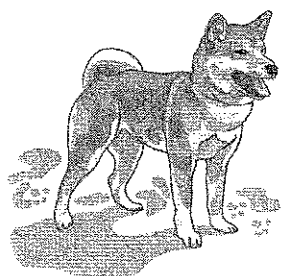
又、お力添えを頂きました農林水産省には感謝申し上げるとともに組合は農薬流通と行政のパイプとして、業界の発展に寄与したいと存じます。

おめでとうございます



※平成18年11月8日伝達式にて  
お撮りになりました写真を  
お借りいたしました。

全農薬ひろば



全国農薬協同組合

E-mail [info@znouyaku.or.jp](mailto:info@znouyaku.or.jp)

URL <http://www.znouyaku.or.jp>

組合員の皆様には  
今年もお世話になりました。  
全農薬は売上の減少など厳しい一年でしたが  
組合員皆様の暖かいご協力を頂き感謝申し上げます。

事務局は加藤部長の退職、刈屋顧問の突然の逝去と  
寂しくもありましたが、松木理事長の叙勲の喜びに  
悲喜こもごもの2006年でした

2007年も宜しくお願い申し上げます

